

シリーズ
元気です！

街をにぎやかに

高校生のお店

「seed」

八月十六日、じゃんしゃん祭でにぎわう智頭街道商店街の一角で、鳥取県で初めて現役高校生による店がオープンした。この店の名は「seed」（種、根源の意味）。県立鳥取商業高等学校の生徒十七人が運営している。これは、実践的商業教育の一環として生徒たち自らが店を開いたもので、空き店舗の活用による中心市街地の活性化策として、県、市、智頭街道商店街が援助し出店の運びとなった。
オープンして三週間、「社長」の村瀬亮文さん（三年生）に店のようすを聞いた。



店を運営している鳥商の生徒のみなさん(中央：村瀬さん)

どんな店ですか？

Tシャツ、アクセサリ、キーホルダーなどいろいろの商品を売る雑貨店です。県内の専門高校が作った醤油や缶詰など実習製品も販売しています。幅広い年齢層の人に来ていただける店を目指しています。

売れ行きは？

オープンして間もないので



まだわかりませんが、まずまずだと思います。

特に、僕たちがデザインしたオリジナルTシャツがよく売れています。みんな初めは緊張さみで、お客さんへのあいさつや会話がぎこちなかったのですが、徐々に慣れてきました。今ではみんな楽しくやっています。

苦労したことは？

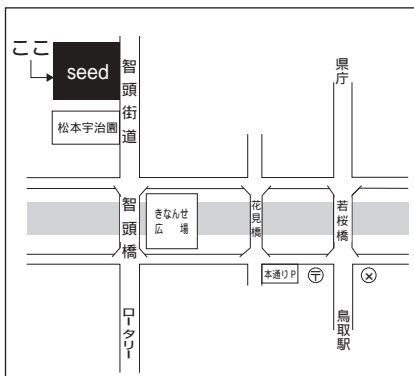
店の経営方法などは学校の授業で理解してきたつもりでしたが、実際店を立ち上げるとなると何からやっていたのかわからず困りました。先生や商店街の人に教えてもらったり、岐阜県の高中生ショップを視察して業者への買い付けなどいろいろ教わりました。

また、商品の数が多くて、お客さんへちゃんと説明ができるようになるまで苦労しました。

今後は？

近所のみなさんはもちろん、だれもが入りやすい店にしたいです。特に、徒歩や自転車のお客さんが多いので、くつろいでいただけるようにお茶のサービスをしたり、休憩できるスペースを作りたいと考えています。また、もっと若いお客さんがたくさん来てくれるように、仕入れの商品に工夫を凝らしたいと思っています。

店の名前のとおり、僕たちの店「seed」が種となって商店街が活性化し、鳥取市の街全体がにぎやかになったらいなと思います。



鳥取市元町
「営業時間」
平日 午後1時～5時
土・日 午後1時～6時
「休日」 祝祭日